

血

液

内

科

だ

よ

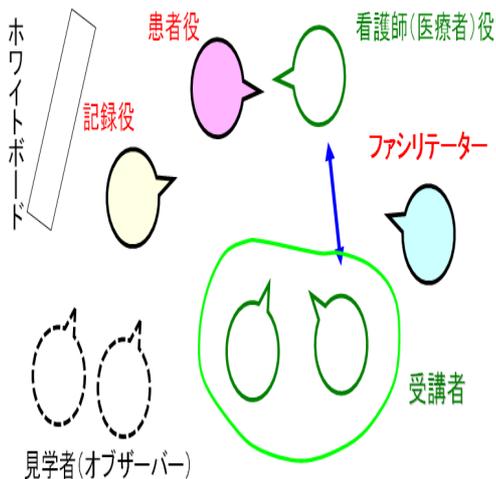
い

患者さまとのコミュニケーションについて

血液内科病棟では、看護師が、闘病している白血病などの患者様の気持ちにも寄り添った看護を提供できるように心がけています。しかし、人は生まれつき、医療者（看護師）として臨まれるコミュニケーションがとれるものではなく、**根拠に基づいたロールプレイによるコミュニケーション・スキル・トレーニング（CST）を開始することにした。**

日本サイコオンコロジー学会のプロトコール（SHARE）に準拠して、血液内科チーム医療の中で、下記の目標を立てコミュニケーション・スキルの向上に努めています。

- コミュニケーションを図る上での、患者-看護師関係の特徴を理解する。
- がん患者さんと向き合うときの、自分自身の感情を知る。
- がん、予後、死、別離、性など、患者さんにとっての重大関心事と思われる話題について、患者さんと会話ができるようになる。
- 怒り、不安、不定愁訴を持つ患者さんと、治療的な会話ができるようになる。



ロール・プレイとは？

模擬患者と共に看護師役として、ある離床場面を演じ、その中で生じた患者とのコミュニケーションにおける問題点を解決していく、参加者中心の学習法です。理想的な看護師役を演じることが目的ではなく、ファシリテーターやオブザーバーと共に問題解決を目指すことが目的です。ロール・プレイとディスカッションを通じ、SHAREプロトコールに基づいたコミュニケーション・スキルを習得することが重要になります。